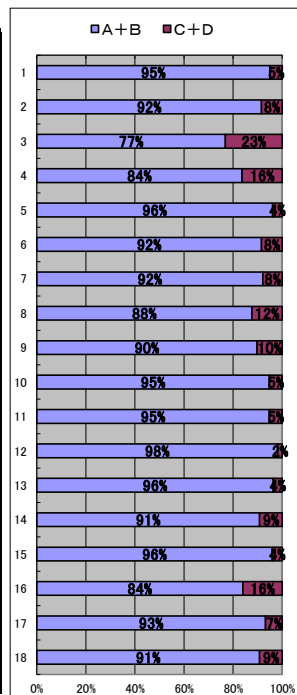


令和6年度後期学校評価結果のお知らせ
～令和7年度の学校づくりに向けて～令和7年2月 日
上田市立第五中学校

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。評価の結果は下記のとおりです。アンケート結果を真摯に受けとめ、教職員一丸となって今後の学校づくりを進めてまいります。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

評価項目		評価				評価			割合		昨年度後期					
		①	②	③	④	①+②	③+④	合計	①+②	③+④	①+②	③+④				
学習自己評価	1	授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。				231	130	15	4	361	19	380	95%	5%	98%	2%
	2	授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートをていねいに取ったりしている。				207	141	29	3	348	32	380	92%	8%	95%	5%
	3	宿題や提出ノートは毎日提出している。				158	134	66	22	292	88	380	77%	23%	75%	25%
授業評価	4	先生方は、チャイムとともに教室に来ている。				97	221	60	2	318	62	380	84%	16%	76%	24%
	5	先生方の授業はわかりやすい。				161	204	14	1	365	15	380	96%	4%	94%	6%
	6	授業では、自分の考えなどを書く場面がある。				186	162	27	5	348	32	380	92%	8%	93%	7%
	7	授業では、友達と考えを話し合う場面がある。				184	166	24	6	350	30	380	92%	8%	92%	8%
生活自己評価	8	学校での生活は楽しい。				228	105	35	12	333	47	380	88%	12%	90%	10%
	9	さわやかなあいさつができています。				207	134	34	5	341	39	380	90%	10%	92%	8%
	10	時間を守った生活ができています。				195	165	16	4	360	20	380	95%	5%	95%	5%
	11	友達の気持ちを考えた行動をしている。				228	132	14	6	360	20	380	95%	5%	96%	4%
	12	服装を整え、生活の決まりを守って生活している。				301	72	5	2	373	7	380	98%	2%	99%	1%
	13	無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。				282	84	11	3	366	14	380	96%	4%	98%	2%
	14	生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。				213	132	33	2	345	35	380	91%	9%	96%	4%
	15	部活動(またはそれにかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。				205	30	3	7	235	10	245	96%	4%	88%	12%
生活評価	16	悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。				180	139	37	24	319	61	380	84%	16%	80%	20%
	17	先生方は、生活の3重点を意識して生活している。				184	170	22	4	354	26	380	93%	7%	88%	12%
	18	学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。				212	133	31	4	345	35	380	91%	9%	91%	9%
									平均	340	33	平均	91%	9%	91%	9%



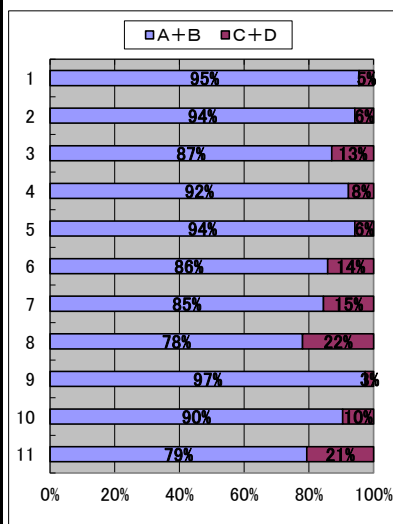
○生徒の「学習・授業への取り組み」(項目1～3)の自己評価結果を見ると、昨年度前期の割合と比較してやや下がっているものの、宿題や提出物は向上しています。本校生徒の学習への取り組みは、ほぼ昨年度と同様といえます。先生への生徒による評価(項目4～7)は、向上しています。さらに、教師主導の授業から、友達と話し合ったり、個々が追究したりする生徒主体の授業を目指します。

○「学校生活に関する自己評価」(項目8～15)では、部活動への取組が大きく向上しているものの、その他の項目では、昨年度と比べてわずかですが下降しています。特に生徒会行事や学校行事に対する積極性を伸ばしていきます。

○学校生活に関する項目(項目16～18)では、先生方が意識して取り組んだ成果が表れて向上しています。今後も、生徒に寄り添った姿勢と言葉がけを大切にしていきます。

教育に関するアンケート集計(保護者)

項 目	評 価					割 合		昨年度後期	
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	70	78	5	2	155	95%	5%	95%	5%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	58	88	6	3	155	94%	6%	90%	10%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	59	76	17	3	155	87%	13%	92%	8%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	79	64	10	2	155	92%	8%	93%	7%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	92	54	8	1	155	94%	6%	97%	3%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	67	66	18	4	155	86%	14%	83%	17%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	52	79	21	3	155	85%	15%	86%	14%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	38	83	27	7	155	78%	22%	72%	28%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	110	41	3	1	155	97%	3%	96%	4%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	84	20	4	7	115	90%	10%	90%	10%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	29	94	29	3	155	79%	21%	71%	29%
平均					151	89%	11%	88%	12%



○全体的には、向上が4項目(項目2 6 8 11)、同等が5項目(項目1 4 7 9 10)、やや下降が2項目(項目3 5)で、向上が見られています。引き続き、保護者との信頼関係を大切にして、家庭とともに生徒を向上させたいと願っています。

○学校からの情報発信(項目5)については、下降が見られました。今後は『学校だより』『学年だより』の内容を吟味し、よりよいものにしていきます。

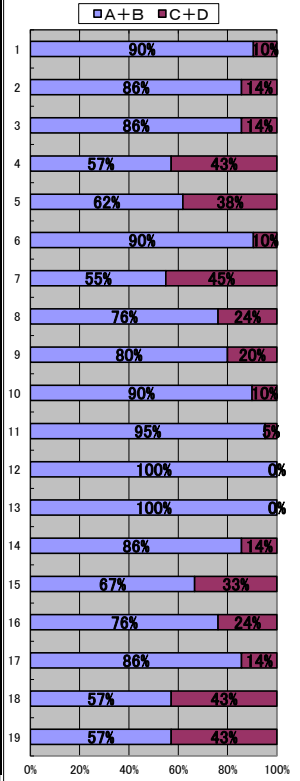
○いじめに対する取組(項目2)については、向上が見られたものの、生徒の悩みや相談への対応(項目3)が下降しました。いじめや暴力のない100%の学校を目指し、生徒の悩みや相談に対応するとともに、生徒間のトラブルに際しては、十分に聞き取りを行った上で、家庭と情報を共有し、継続した支援を心がけます。また、担任だけでなく、学年職員、教科担任をはじめ、全職員が足並みをそろえ、生徒の指導と支援にあたります。

○学校の取組として力を入れている「あいさつ」について、昨年度と比較し、ほぼ同等です。「あいさつ」は社会に出た時にも大切な、最も基本的なコミュニケーションであると考えます。より一層さわやかなあいさつが定着するように、生徒会や学年の活動の一つとして大切にするとともに、教師もさわやかな挨拶を心がけます。ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

○項目11は、昨年度と比べて8%上昇しても、まだ70%台と他の項目と比べて低くなっています。授業の根本の問題としてとらえ、教員の研鑽を積むと共に、授業改善により一層力を入れます。

教育に関するアンケート集計（教職員）

領域	具体的方策	評価					評価		割合		昨年度後期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつくれる力の明確化。	6	13	2	0	21	19	2	90%	10%	96%	4%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	3	15	3	0	21	18	3	86%	14%	91%	9%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	4	14	3	0	21	18	3	86%	14%	96%	4%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	2	10	7	2	21	12	9	57%	43%	78%	22%
	5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	4	9	6	2	21	13	8	62%	38%	74%	26%
	6 五人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	2	17	1	1	21	19	2	90%	10%	91%	9%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	0	11	8	1	20	11	9	55%	45%	83%	17%
	8 意見を言い合える場の設定	4	12	4	1	21	16	5	76%	24%	96%	4%
	9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	14	2	3	1	20	16	4	80%	20%	96%	4%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	3	15	2	0	20	18	2	90%	10%	83%	17%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	5	15	1	0	21	20	1	95%	5%	91%	9%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	9	12	0	0	21	21	0	100%	0%	100%	0%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	8	13	0	0	21	21	0	100%	0%	100%	0%
学 校 運 営	14 学校日より、学年日より等の定期的な発行とHPの更新	3	15	3	0	21	18	3	86%	14%	96%	4%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	1	13	5	2	21	14	7	67%	33%	74%	26%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	5	11	5	0	21	16	5	76%	24%	91%	9%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	0	18	3	0	21	18	3	86%	14%	91%	9%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	1	11	9	0	21	12	9	57%	43%	74%	26%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	4	8	9	0	21	12	9	57%	43%	61%	39%
平均							16	4	79%	21%	87%	13%



○向上している項目が2（項目10・11）、同等の項目が3（項目6・12・13）、下降している項目が14、という結果でした。本年度、本校では、『教師主導ではなく、個別での追究や友達と協働しながら、課題を解決するなど、生徒が動く授業を目指す』という目標のもと、職員会での研修を重ね、理想とする授業を目指しています。個々の教員の目標の明確化とともに、今後も更なる向上を目指します。

○教員の『生活の3重点・部活動の重点の深化』では向上が見られました。今後も、『時間を守り、授業開始前に教壇に立つ』などの習慣を、徹底していきます。

○本校で大切にしている「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」については、今後も継続し大切にします。

○読書活動（項目9）については『豊かな語彙と感性を身につけ、学習の基礎となる力を得られるもの』と位置づけ、毎日の朝読書を中心に生徒の読書活動をさらに充実させます。

○項目5「体験型授業」については、さらに実践・体験を増やせるように、外部と連携し、教育課程を工夫します。

<令和6年度後期の学校評価』の集計から、つぎの5点に絞ってご報告いたします。 詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価 → 生徒にとって『わかる授業』を目指します。そして、思考・判断力を身につけるために、個々での追究や友達と協働して課題を解決する『生徒が主体となる授業』を行います。また、学んだことを定着するための家庭学習の大切さを伝えます。
- 2 生徒の生活自己評価 → 安心・安全で楽しい学校生活を維持していくために、教師が自ら“生活の3重点”の実践を意識し、生徒の生活づくりに努めます。また、全職員が生徒に向き合い、生徒の不安や心配事を聞き取って支援にあたります。
- 3 生徒の授業評価 → 粘り強く自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場面を増やし、基礎基本の定着とともに、今後社会で必要となる力である思考力・判断力・表現力の育成をはかります。
- 4 保護者の学校評価 → これまで通り、ご家庭での心配事や支援については、きめ細やかな連絡を心がけます。授業に関しては、1時間の授業でつくれる力を明確にし、わかりやすい授業を目指します。
- 5 学校自己評価 → 教員間の目標の共有を確かなものとし、生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が、楽しく生き生きと学べる学校をさらに目指します。

※学校評価アンケートでは、『学校への要望』等の記述欄に貴重なご意見を多数いただきました。ありがとうございました。
内容を教務会や職員会で検討し、今後の方向を話し合いました。
今後とも、第五中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いするとともに、些細なことでも学校にご意見やご連絡をよろしくお願いいたします。